

公益財団法人 日本体育協会公認
競技別指導者養成講習会

受講および受験の手引き

2018年2月14日

公益社団法人日本ダンススポーツ連盟
普及本部指導部

1. はじめに

公益財団法人日本体育協会（以下、日体協という。）では、「スポーツ振興基本計画」や「21世紀の国民スポーツ振興方策」にあげられている将来のスポーツ活動を見据え、「総合型地域スポーツクラブ等」で必要とされるスタッフを、マネジメントスタッフ、コーチングスタッフ、メディカル・コンディショニングスタッフと整理し、平成17年度（2005年）から新たな指導者制度をスタートさせました（下図参照）。

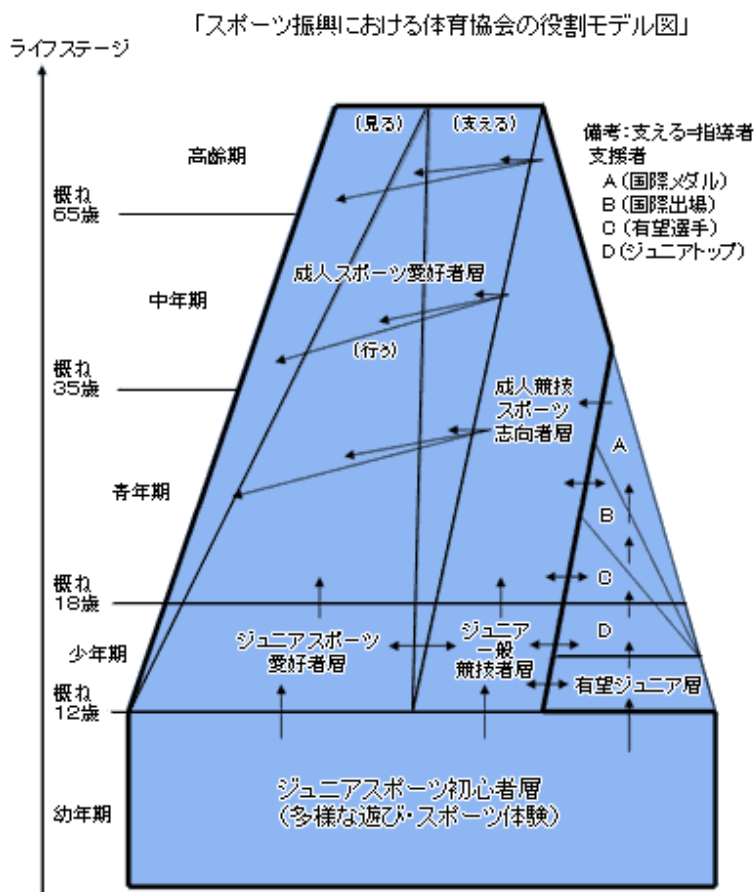
日体協が加盟団体等と養成するスポーツ指導者は、「スポーツ指導基礎資格」、「競技別指導者資格」、「フィットネス系資格」、「メディカル・コンディショニング資格」、「マネジメント資格」の5つに分類することとしています。

公益社団法人日本ダンススポーツ連盟（以下、JDSFという。）では、1999年（平成11年）より独自の指導員制度を構築し、ダンススポーツの指導員育成に力を注いできたものの、日体協の指導者制度には参加してきませんでした。この新たな指導者制度スタートに合わせ、上記のうち「競技別指導者」の育成に取り組むことにしました。

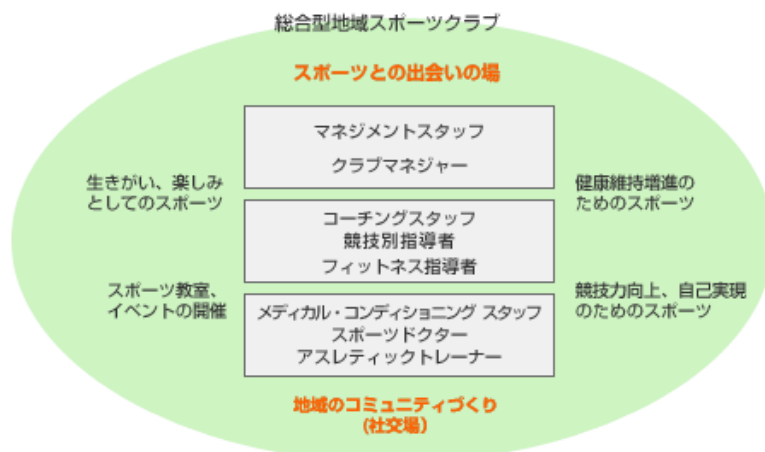
2. 日体協が提唱する競技別指導者資格

日体協が提唱する競技別指導者とは、競技種目別の専門的な知識と指導能力を有する指導者で、各競技団体が策定する「競技者育成プログラム(一貫指導システム)」のもとに、活動拠点や指導対象(年代・志向・能力)に応じた指導法に関するカリキュラムを学ぶ「指導員」、「上級指導員」、「コーチ」、「上級コーチ」と、スイミングクラブやテニススクールなど商業スポーツ施設で指導にあたる「教師」、「上級教師」です。

役割等については、別表1の通りです。



今後期待されるスポーツ活動の場と必要なスタッフ



別表 1

資 格	役 割	認定により備えられる知識と能力
指 導 員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域スポーツクラブ等において、スポーツに初めて出会う子どもたちや初心者を対象に、競技別の専門的知識を活かし、個々人の年齢や性別などの対象に合わせた指導にあたる。 ・ 特に発育発達期の子どもに対しては、総合的な動きづくりに主眼を置き、遊びの要素を取り入れた指導にあたる。 ・ 地域スポーツクラブ等が実施するスポーツ教室の指導にあたる。 ・ 施設開放において利用者の指導支援を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ スポーツに関する基礎的知識 ・ ボランティアに関する基礎的知識 ・ 競技者育成プログラムの理念と方法 ・ 初心者に対する基礎的指導法
上級指導員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域スポーツクラブ等において、年齢、競技レベルに応じた指導にあたる。 ・ 事業計画の立案などクラブ内指導者の中心的な役割を担う。 ・ 地域スポーツクラブ等が実施するスポーツ教室の指導において中心的な役割を担う。 ・ 広域スポーツセンターや市町村エリアにおいて競技別指導にあたる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 競技者育成プログラムの理念と方法 ・ 多様な能力やニーズに対する指導法 ・ スポーツ教室や各種イベントの企画立案 ・ 組織の育成に関する知識
コ ー チ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域において、競技者育成のための指導にあたる。 ・ 広域スポーツセンターや各競技別のトレーニング拠点において、有望な競技者の育成にあたる。 ・ 広域スポーツセンターが実施する地域スポーツクラブの巡回指導に協力し、より高いレベルの実技指導を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 競技者育成プログラムの理念と方法 ・ 国内大会レベルの競技者に対する高度な指導法
上級コーチ	<ul style="list-style-type: none"> ・ ナショナルレベルのトレーニング拠点において、各年代で選抜された競技者の育成強化にあたる。 ・ 国際大会等の各競技会における監督・コーチとして、競技者が最高の能力を発揮できるよう、強化スタッフとして組織的な指導にあたる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 競技者育成プログラムの理念と方法 ・ 国際大会レベルの競技者に対する高度な指導法
教 師	<ul style="list-style-type: none"> ・ 商業スポーツ施設等において、競技別の専門的指導者として、質の高い実技指導を行う。 ・ 会員（顧客）が満足できるよう、個々人の年齢や性別、技能レベルやニーズなどに合わせたサービスを提供する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 競技者育成プログラムの理念と方法 ・ 多様な能力やニーズに対応する高度な指導法 ・ ホスピタリティに関する知識 ・ 商業スポーツ施設等の経営に関する基礎的知識
上 級 教 師	<ul style="list-style-type: none"> ・ 商業スポーツ施設等において、競技別の専門的指導者として質の高い実技指導を行う。 ・ 会員（顧客）が満足できるよう、個々人の年齢や性別、技能レベルやニーズなどに合わせたサービスを提供する。 ・ 各種事業に関する計画の立案、指導方針の決定など組織内指導者の中心的役割を担う。 ・ 地域スポーツ経営のためのコンサルティングならびに経営受託の企画・調整を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 競技者育成プログラムの理念と方法 ・ 多様な能力やニーズに対応する高度な指導法 ・ スポーツ教室や各種イベントの企画立案 ・ 組織の育成に関する知識 ・ 商業スポーツ施設等の健全な経営能力

3. JDSF が推進する 2018 年度における競技別指導者養成計画

日体協が提唱する競技別指導者資格は、上述のように 6 区分に分類されています。JDSF では、将来的には全区分の指導者養成を目指していますが、2018 年度は、「指導員」と「コーチ」区分の養成に取り組むこととしました。なお、「コーチ」区分については、隔年ごとの開催を考えています。

(1) 受講条件、共通科目及び専門科目カリキュラムの履修時間など
別表 2 の通りです。

別表 2

資格	養成目的	受講条件	共通科目履修時間	専門科目履修時間	日体協への登録料(4年間)	JDSF への登録料(4年間)
指導員	地域サークル等で子どもたちや初心者・高齢者を対象に、ダンススポーツの基礎的理論、実技指導にあたる指導者を養成する。	<ul style="list-style-type: none"> ・受講年度の 4 月 1 日現在 18 歳以上。 ・地域サークル等においてダンススポーツの指導にあたる者、またはこれから指導者になろうとする者で、JDSF の承認を得た者。(注 1) 	35 時間 共通 I (NHK 学園の通信講座による。 (注 3))	40 時間 (うち、集合講習は 32 時間) 免除条件あり。(注 4)	10,000 円 (初回登録料のみプラス 3,000 円)	10,000 円 (当面免除)
コーチ	競技者育成計画に基づき、都道府県レベルで競技者の育成にあたる指導者を養成する。	<ul style="list-style-type: none"> ・受講年度の 4 月 1 日現在 20 歳以上。 ・JDSF の承認を得た者。 (注 1) (注 2) 	152.5 時間 共通 I + II + III (共通 I、II はワークブック、テキストによる自宅学習。共通 III は 6 日間の集合研修。 (注 5))	60 時間 (うち、集合講習は 40 時間) 免除条件あり。(注 4)	10,000 円 (初回登録料のみプラス 3,000 円)	10,000 円 (当面免除)

注 1) JDSF 指導員資格を有する者、または、他団体が実施する同等の講習を受講した者。

注 2) 原則として、JDSF 指導員競技力 A 級を有する者、又は、それと同等の資格を有すると認められる者、及び、日体協指導員資格を有し加盟団体から推薦された者。

注 3) NHK 学園における通信講座

当講座は、NHK 学園が運営する「公益財団法人日本体育協会公認スポーツリーダー」の養成講座です。通信講座の 3 回の課題について期限を守って提出し、60%以上の得点で終了すると、「公益財団法人日本体育協会公認スポーツリーダー」として認定されます。また、認定者は、公認スポーツ指導者制度におけるその他専門分野資格取得の際、「共通科目 I」の受講が免除されます。

2015 年度の実施時期は未定ですが、前年度までは 9 月～11 月の受講となりました。

注 4) 専門科目における講習・試験の免除

1. JDSF が承認する指導者講習会等を受講した者。

受講した内容程度に応じ、JDSF 指導部が審査の上、免除科目を決定します。

2. JDSF から、既存の指導員制度で A、B、C 級を付与された者。

JDSF 指導員資格を有し、都道府県連盟が推薦する者は、「指導員」の専門科目の講習・試験の一部を免除します。

3. その他

国際大会等で特に優秀な成績を収めた者で、コーチとしての資質、能力が優れていると認められる者。
上記の者については、日体協と JDSF 普及本部が、内容・程度を審査の上、免除科目を決定します。

注5) 「コーチ」共通科目Ⅱ・Ⅲの集合研修の実施予定(具体的な日時、場所)は、日体協の「受講の手引き」(受講者に別送)を参照。

(2) 専門科目の開催期日、開催場所等

1) 指導員

- i. 開催期日：平成30年11月23日(金・祭)～25日(日)(24時間)
- ii. 場 所：23日 DTC 6時間
24日 未定(都内) 8時間
25日 駒沢体育館 10時間
(同会場で開催される競技会への出場不可)
- iii. そ の 他：北海道、東北、東部、中部、西部、九州各ブロックにおける JDSF 指導員研修会の一つを指定(8時間)。ただし、免除される場合がある。

2) コーチ

集合講習(40時間)は、下記により実施します(講師の都合により変更される場合があります)。

- i. 開催期日：前期：平成30年10月6日(金)～8日(月・祭)(20時間)
後期：平成31年3月9日(土)～11日(月・祭)(20時間)
- ii. 場 所：前期：当連盟ダンススポーツトレーニングセンター(DTC)他
後期：駒沢体育館、DTC 他

(3) 受講申込

1) 受講条件

別表2の通りです。

2) 受講者の決定

① 「指導員」受講希望者

- i. JDSF 所定の受講(仮)申込書(別掲)に必要な事項を記入の上、JDSF GD 会員の場合は、都道府県連盟会長の推薦を得て、また、PD 会員は直接 JDSF へ **5月1日(火)～6月15日(金)の期間内**に申し込みます(FAXでも可)。
- ii. JDSF は、書類を確認した後、仮申込者に対して申し込み方法をご案内します。
- iii. 受講者は、申し込み方法に従い6月29日(金)までにインターネットにより申し込みます。ただし、インターネットが使えない場合は、JDSF から代理申し込みをすることが可能ですので、直ちにお申し出ください。
- iv. 日体協は、受講者を内定し、NHK 学園を通じて共通科目の受講について本人に通知します。

(参考) 共通科目履修の免除に関して

すでに日体協公認資格を取得されている場合は、共通科目 I 部分が免除になります。

レクリエーション協会が養成しているレクリエーションコーディネータ

一はこれまで通り免除になります。

また、平成17年度以降は体育大学を卒業していると、卒業証明書での免除ができるようになっていきます。

- v. 受講決定者は、JDSFからの通知に基づき、別に定める受講料査料をJDSFあて納付します。

②「コーチ」受講希望者

- i. JDSF 所定の仮受講申込書に必要事項を記入の上、JDSF GD会員の場合は、都道府県連盟会長の推薦を得て、また、PD会員は直接JDSFに 3月9日(金)までに申し込みます(FAXでも可)。
- ii. JDSFは、受講希望者に日体協作成の『受講の手引き』を送付します。
- iii. 受講希望者は、『受講の手引き』に沿って、正式な受講申し込みを3月16日(金)までに行います。
- iv. 日体協は関係書類を確認した後、受講決定者へ受講決定通知等の関係書類を送付します(4月下旬)。
- v. 受講決定者は、JDSFからの通知に基づき、別に定める受講料(または免除審査料)をJDSFあて納付します(5月下旬)。
- vi. JDSFは受講料を日体協へ納付し、確認されると、受講決定者に共通科目テキスト及びワークブックが送付されます。

(参考) 共通科目履修の免除に関して

すでに日体協公認資格を取得されている場合は、共通科目 I 部分が免除になります。

また、体育大学卒業者は、平成16年度までの卒業生の場合は、卒業時に免除申請をしていないと免除になりません。

平成17年度以降は体育大学を卒業していると、卒業証明書での免除ができるようになっていきます。

(4) 検定・審査

講習に基づく、検定・審査は、共通科目と専門科目に区分して実施します。

1) 指導員

- ① 共通科目における検定は、通信課題による判定とします。
- ② 専門科目における検定は、技能検定を主体に筆記試験などを加えた総合判定とします。検定日は専門科目講習会最終日を予定。
試験範囲は、専門科目講習会の内容とします。
- ③ 共通科目、専門科目のいずれもの検定に合格したものが、「公認指導員養成講習会修了者」として認められます。

2) コーチ

- ① 共通科目における検定は、筆記試験による判定とし、日体協において審査します。

- ② 専門科目における検定は、技能検定を主体に筆記試験等を加えた総合判定とし、JDSF の専門科目検定委員会において審査します。検定日は専門科目講習会最終日を予定。
- ③ 共通科目、専門科目のいずれもの検定に合格したものが、「公認コーチ養成講習会修了者」として認められます。

(5) 認定及び登録

共通科目及び専門科目の検定に合格した者には「合格証」が発行され、その後、指導者登録の手続きを完了した者には、日体協公認指導員として「認定証」及び「登録証」が交付されます。

なお、資格の有効期間は4年間で、本資格を更新しようとする者は、資格有効期限内に別途定める研修を受けなければなりません。

(6) 2018年度講習会受講等の年間の流れ

指導員 月 事項	2018年												2019年		
	1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
実施要領周知		○													
受講申し込み					○ (仮)	○									
受講決定通知							○								
NHK学園受講 (予定)									○	○	○	○			
専門科目講習会											○				
専門科目検定											○				
結果通知															4月 下旬

コーチ 月 事項	2018年												2019年		
	1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
実施要領周知		○	○												
受講申し込み		○ (仮)	○												
受講決定通知					○ 中旬										
共通科目自宅学習						○ 下旬	○	○	○	○	○	○	○		
共通科目Ⅱ、Ⅲ集合 講習会							○	○	○	○	○				
共通科目検定試験 (いずれかで受験)												○	○	○	○
専門科目講習会											○				○
専門科目検定															○
結果通知															6月 下旬

(7) 経費

受講・検定・審査・登録に係る経費は、別表3の通りです。

別表3

	受 講 料			登録料 (4年間)		初年度計
	日 体 協		JDSF	日体協	JDSF	
	共通科目 I	専門科目	専門科目	*	当面免除	
指導員	19,800	15,120	10,000	10,000	(10,000)	54,920
コーチ	19,440	10,800	10,000	10,000	(10,000)	50,200

*初回登録には一律 3,000 円プラス

なお、上記以外に、専門科目受講に際して別途費用が必要となる場合があります。

(8) その他

1) 指導員

- ①受講者は、原則として、同一年度内に共通科目（通信講座）、専門科目を履修することとします。
- ②受講有効期限は、受講開始年度を含め4年間とします。
- ③共通、専門試験に合格し、手続きを経て登録された場合、JDSFの普及C級指導員及び競技力C級指導員のうち、3年以上の経歴を持つ者は、普及B級指導員に昇級申請することができます。

【本件へのお問合わせ先】

〒135-0063 東京都江東区有明 3-4-2 有明センタービル1階
公益社団法人日本ダンススポーツ連盟 総務部長 岸尾 政弘

TEL 03-6457-1850 FAX 03-6457-1857

E-mail : masahiro.kishio@jdsf.or.jp

